

IIJ および IIJ America、スパム対策のワーキング・グループ創設に参加

-- 迷惑メール、電子メールウィルスなどの対処策を策定 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一)および IIJ America Inc.(本社:ニューヨーク、代表取締役社長:寺井 一郎)は、国際的な電話会社および ISP など全 19 社で迷惑メール等に対する対策のワーキング・グループ(Messaging Anti Abuse Working Group)を設立しました。2003年12月、モバイルインターネット向けのブラウザやソフトウェアを開発する Openwave Systems Inc.(Openwave、本社:カリフォルニア、President and CEO: Don Listwin)主導のもと、キックオフミーティングが開催されました。加盟企業および協議事項については以下をご参照ください。

企業で使用するメールアドレスに送られる迷惑メールの現状について弊社がユーザアンケートを行ったところ、回答企業の 8 割以上が迷惑メールによる被害を経験しており、9 割以上がメールサーバレベルでの迷惑メール対策を希望している、という結果が出ているなど、迷惑メール対策は急務となっております。そこで本ワーキング・グループは、約 8,000 万人の利用者および約 4,000 万のメールアカウントを抱えている加盟企業が迷惑メールに関する様々な情報を交換しネットワークレベルでの迷惑メール対策の研究開発を共同で行うほか、迷惑メールに関する定義・基準を策定し、スパムおよび迷惑メール防御策を取ることを目的としています。また、法的な観点での調査・研究も行い、お客様により快適な電子メール環境を提供する方法を追求していきます。

今春、「共同研究」「技術」「施策」について次のステップへのミーティングを予定しており、当初のワーキング・グループメンバーに加え、他のグローバルキャリアなど、広範囲に共同研究を拡張し進めていく予定です。詳細は決まり次第、別途発表致します。

現在、日本からは IIJ のみの参加となっており、IIJ および IIJ America はこのワーキング・グループにおける日本でのイニシアティブをとりながらこれまで培ってきたメールシステムとネットワーク運用の経験を活かしてリソースの有効的な活用を提言し、生産性およびモラルの向上を図り、顧客に対してより良いメール環境を提供して参ります。

【キックオフミーティング協議事項】

テーマ	内容
共同研究	・ ISP 間で共通の基準を作る ・ 信頼性の高いネットワークの構築 ・ スパム、DOS 攻撃、ウィルス攻撃、望まない内容の電子メールなどへの最適な対処法
技術	偽造やなりすましの防御や迷惑メールへの対処法について技術的な基準を確立
施策	標準化・立法機関に対する統合的なインターフェイスの確立

【加盟企業】

Abranet, Alltel, Bell Canada, Bell South, Cox, IIJ, IIJ America Inc., NII Holdings, Inc., NTL, Telus Communications, Openwave Systems Inc. ほか 8 社

オープンウェーブシステムズ社について

オープンウェーブシステムズ社(Nasdaq: OPWV)は、オープンなソフトウェア製品およびサービスを移動体通信業界に提供する独立系リーダー企業です。オープンウェーブ社は、米国カリフォルニア州レッドウッドシティに本社を置くグローバル企業です。

URL: <http://www.openwave.com/>

報道関係問合せ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報室 池田

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>